

# 2012 荒尾市 10大ニュース

2012年も残すところあとわずかになりました。さまざまなことが起こったこの1年を、荒尾市の出来事で振り返りました。あなたにとっての10大ニュースと重ねてみてください。来年もよい年になりますように。

## 1 荒尾干潟がラムサール条約に登録される



▲荒尾干潟は荒尾の宝から世界の宝へ。自然と人が共存し続けるまちを目指します。(写真:牛水海岸 提供/村中猶由紀さん(荒尾写真クラブ))

7月3日、ルーマニアのブカレストで開催されたラムサール条約第11回締約国会議で荒尾干潟がラムサール条約湿地に登録されました。熊本県内で初の登録で、九州の干潟としても初の登録です。4月には、荒尾干潟に多く飛来する「シロチドリ」が市の鳥に決定しました。荒尾干潟は、①単一干潟としては国内有数の広さを誇り、豊かな生態系があること②鳥獣保護区特別区に指定されていること③漁業組合や住民、行政が一体となり登録を進めたことなどが評価されました。今後、湿地の生態系と環境を保全することとともに、湿地を賢く活用していくことが求められます。

## 2 荒尾市が市制施行70周年を迎える

# 2

昭和17年4月1日に荒尾町、平井村、府本村、八幡村、有明村の1町4村の合併で荒尾市が誕生し、昭和30年には清里村の一部を編入しました。今年4月1日、荒尾市は市制施行70周年を迎えました。4月8日の記念式典では、法学者の松尾浩也さんが荒尾市初の市民栄誉賞を受賞されました。70周年記念事業として「巨大モザイクアートの制作」「未續選手の陸上指導教室&トークショー」などを年間を通じて行いました。

荒尾の発展のために努力してこられた先人の功績に感謝しながら、私たちはこの尊い郷土を守り、さらに発展させ、次の世代へ引き継がなければなりません。



▲巨大モザイクアートの除幕式。たくさんの市民の皆さんの力が結集してできた4枚のアートは、荒尾八景がモチーフです。

## 地域の代表 地区協議会が発足

# 3

4月に「荒尾市協働の地域づくり推進条例」を施行しました。その取り組みとして、各地区を代表する地域団体である「地区協議会」が、6月に12地区の全てで設立・認定されました。

これからのまちづくりは、市民・地域・行政がそれぞれの役割を認識し、地域を中心として協働のまちづくりを進めていきます。地域からしあわせを実感できるまちづくりが、新たにスタートしました。

## 荒尾駅前をリニューアル

# 4



▲すっきりと表情を変えた荒尾駅前、ひときわ存在感あるモニュメント。

3月、本市の玄関口である荒尾駅前広場を新しく整備しました。荒尾駅前広場再整備事業として、平成22年度から商工会議所、青年会議所、観光協会などと一緒にまちづくり懇談会やワークショップを催し、市民の皆さんと協働で作りました。有明高専の学生による設計で、万田坑をモチーフにしたモニュメントもできました。

# 5

## ご当地アイドル・MJKがデビュー



▲MJKは荒尾市健康推進隊として、荒尾市の健康づくりを手伝っています。

本市のご当地アイドル「MJK」が、8月4日のあらお荒炎祭で初ステージに立ちました。中・高校生や社会人の女性で構成するこのMJKは、市マスコットキャラクター「マジッキー」にちなんでいます。市内外の祭りや各種イベントに出演中で、荒尾市の元気を全国に発信しています。市民の皆さんの応援をよろしくお願いします。

# 6

## 6歳まで乳幼児医療費の自己負担が無料になる

子育て世帯への経済的な負担を軽減し、子どもたちが安心して必要な医療を受けることができるように、4月から、乳幼児医療費については6歳(就学前)までの自己負担をなくし、完全無料化を実施しています。

また、支払方法についても県内通院の場合は、10月受診分から窓口での自己負担がなくなりました。

## ありあけ浄水場が完成する

# 7

4月1日、ありあけ浄水場が給水を開始しました。荒尾市と大牟田市が、大牟田市臼井新町に共同で建設したもので、県境を越えた広域の共同浄水場は日本初の試みとして、全国から注目を集めています。

高い浄水能力を持った膜ろ過方式で、安心して安全な水を供給することができます。本浄水場の水は地下水とブレンドされ、市内16,500世帯に送られます。

# 8

## 「出張！なんでも鑑定団」がやってくる

9月1日、文化センターで「出張！なんでも鑑定団 in あらお」の公開収録を行いました。市制施行70周年文化交流事業として誘致・公開収録したものです。鑑定士の中島誠之助さん、安河内真実さん、永井龍之介さんが、壺や掛け軸などのお宝を熱心に鑑定しました。

番組は全国放送され、荒尾干潟や万田坑、宮崎兄弟の生家なども紹介されました。

## 荒尾競馬組合の解散

# 9

84年の長い歴史を刻んだ荒尾競馬。

荒尾市のシンボルとして、市内外の多くの人から親しまれてきた荒尾競馬は、昨年12月23日の最終開催日をもって幕を下ろしました。経営母体である荒尾競馬組合は、本年3月31日をもって解散しました。

# 10

## 荒尾初のメガソーラーで立地協定を結ぶ

10月2日、荒尾初のメガソーラー発電所の立地協定を、ヒラオカ石油株式会社(大阪府)と熊本県の間で結びました。荒尾市原万田のグリーンランドリゾート(株)所有地に、発電出力2,000キロワットの発電施設を建設するもので、来年4月に発電を開始します。